

第5回一宮保育所の民間移管に関する三者協議会 議事録

平成28年9月28日(水) 午前10時00分～
一宮町保健センター 3階 図書室

1. 開 会

出席者

町：福祉健康課長(課長)、保育所長(所長)、福祉健康課子どもグループ職員(町職員)

事業者：社会福祉法人どろんこ会 理事長(理事長) 職員(運営部)

保護者：一宮保育所 保護者代表 3人(保護者)

事務局：福祉健康課子どもグループ長、職員1人、保育士1人(事務局)

2. 議 題

課長：前回までに細かい部分まで協議が進んだ。今日である程度協議の内容を終結させたい。

(1) 通園バスについて

事務局：第4回の協議会で町から提案させて頂いたが、なかなか都合がつかない家庭があるかもしれないということで再度検討した。前回提示した案にプラス1年延長して31年3月まで運行する。何かあれば個別にも話をして対応する。ニーズが多くなく、経費や費用面の問題からこの期間を定めた。

(2) 完全給食について

理事長：第4回の協議会とあまり変わらない話かもしれない。まだ地元の繋がりが薄く、園庭の整備等ある。初年度は田んぼを借りて整備するため、保育の内容に支障が出る可能性がある。

開園後に地元農家やJAと相談して現地で田植え、稲刈りを行っている園もあり、可能だと考えている。初年度に関しては保育の引継ぎを最優先したい。落ち着いてから地元産を使っていければと考えているが、なるべく早く行うようにしたい。

事務局：具体的な金額がはっきりしなかった。どろんこ会が他の園で行っている月3000円で行うのか。

理事長：可能であればそのようにしたい。今後現地に変えることによって安くなることも考えられ、実費徴収の原則から価格の見直しも検討する。

事務局：新潟で持っている田んぼに一宮の子どもたちも希望があれば稲刈り等参加できるのか。それにかかる費用は別途実費徴収があるのか。

理事長：可能である。全員に行ってもらいたいと考えている。千葉県内だと、現在市川や船橋の園児が行っている。3～5歳児が対象になるが、殆どの方が参加を希望している。交通にかかる時間もアクアラインが近く、一宮よりも時間がかかる園もあることから田植え・稲刈りツアーも問題ないと考えている。

食材の話があったが、野菜・魚は地元食材を使いたい。新潟には普段経験できないような環境がある。単に苗を植え稲を刈るだけではなく、山登りやトンボ・カエルを捕まえる等、一宮とは違う環境が用意されている。行けば必ず収穫があると考えている。どろんこ会になって質が下がった等保護者の方に言われぬように最大限配慮したい。是非一度ご飯を食べる機会を用意したい。

事務局：完全給食と稲刈りツアーを分けて考えてほしい。完全給食のお米については、例えば移管後子ども達が0歳で入っている子が卒業するまでの5年間は地元のお米を購入して値段を下げる。園を選べる子どもたち、6年目からは今までのどろんこ会のやりかたに戻すと言ったアナウンスを事前に行っていた。移管の期間だけでも妥協点を探りたい。

保護者：田植えは強制でなく、行きたい子だけが行けるシステムなので良いと思う。アンケートでは今までかかっていた実費がかかる点や、白米だけで月3000円かかる事に疑問を感じる意見がある。それなら自分たちで白米を持っていけないかとの意見もあった。新潟のお米を使うことは構わないが、もう少し寄り合いがないと高く感じる。

理事長：例えば、初年度は3000円ではなくもう少し安い値段にして、地元米を入れる形はどうか。

保護者：お米を持参出来ないことが決定ならば、妥協案が欲しい。費用がかかれば、ご飯だけ持たせるといふ親が多くなるのではないか。

理事長：先ほど事務局が仰っていた平成何年からは戻すといった形で検討する。

事務局：一宮保育園もどろんこ保育園も規模が大きい。原保育所が定員60人で一宮地区は原保育所と一宮保育所で預かっている。原保育所が更に安い値段で完全給食を行い、どろんこ会が月3000円で行うとなると、希望者が値段だけで判断する方がでて、原保育所が溢れてしまった場合、一宮に入らなければいけない子どもたちがでてしまう。原保育所がいくらでやっているのに、一宮に行かなくてはいけないのに月3000円と言われると負担の部分があるのではないか。

理事長：開園説明会の時に段階的な案内ができるようにする。

事務局：現段階の結論としては、再検討として更に協議を進め、5日までには話
が出来るとな段階としたい。

(3) 延長保育料について【資料2】

事務局：(資料提示) 町の保育所の延長保育料を統一する議論がある。これについ
てはもう少し話を進めて行きたい。原保育所にするか一宮保育所にするかの
判断は、町基準になる点は両園共通となり、現段階では差がないことを伝
えたい。独自に一宮どろんこ保育園で実施する19時～20時の時間帯は、ど
ろんこ会が他の園で行っている料金価格を用いる案となっている。19時～
19時30分の間は30分500円、月5000円、19時30分～20時の間は30
分1000円、月10000円。19時以降を利用する方は夕食の申し込みをお願い
する内容。町が検討している延長保育料の料金の感覚は、緊急で少し遅れ
てしまった場合は15分100円、1ヶ月まとまって1時間見てもらいたい時
は今まで通り1時間500円を基準としており、急に値上がりすることはない
予定であり安心して欲しい。

課長：この点についてどろんこ会側から何かあるか。

理事長：2号、3号認定の子どもについては延長保育料という言葉で国を使うが、
1号認定の子どもは預かり保育料という言葉になる。

申込があった園児の入園決定に関しては、1号認定は事業所側になるが、
2号、3号認定は一宮町になる。スケジュールや預かり保育料の案を持っ
てきたので、この後町と協議を行い、5日に最終案を説明できればと考えて
いる。

事務局：この表に関して大きく考えが違う点はあるか。

理事長：保育園の方が夕方までいる事と変わらないように、どこで線を引くのか、
預かり保育料がいくらかかるのかは別として、1号認定の幼稚園の機能と
して利用する方のほうが保育園を利用する方より安くなってしまうこと
があると不合理。幼稚園部分は15時半で一度区切り、17時までのプラン、
19時までのプラン、19時以降のプランで考えていた。民営化、こども園
化され1号認定は始まり、町の考えもあると思うが、金額や区切る時間
についてはもう一度相談したい。預かり保育料の設定を安く考えてしま
ったと思っているので、相談したい。その他大幅な違いは無い。

事務局：まとめると、19時までの保育料は町の保育園の延長保育料と変わらず、
19時以降は現在どろんこ会が運用で使用している基準を用いる。教育部
分に関しては今後協議を行うが、延長保育料といった基準ではなく、預
かり保育といった別の基準と金額となる可能性がある。現段階ではこの
認識でよいか。

理事長：前回渡した入園のしおりでは、標準時間と短時間については、町基準で
はないもので渡した。

基本保育時間を超える時間に関しては通常事業所が決めている。初年度は町基準に合わせるのといった話になるのか。4月から民営化する園に関しては全て同じ金額で行っている。この表は私たちが考えているプランとズレを感じる。

事務局：今後も審議を続ける。5日の事前に委員には話が出来るといった段取りを踏み、伝えていきたいのももう少し待つ欲しい。

課長：19時以降の金額はどろんこ会で設定している金額なのか。

理事長：全園共通の金額である。問題は18時～19時や、16時半～19時の時間帯が一宮の公立の基準になっている点だ。

事務局：補助金の関係も出てくるのでまた協議する。

(4) 開園説明会について

事務局：10月5日の説明会で、どろんこ会側からどのような内容の説明会になるのかの概要を伺い、保護者の方から説明を付け加えるといった要望があれば話が欲しい。

理事長：当日は複数の資料とスライドを使った説明を考えている。説明会は大きく2つあり、来週行う予定の説明会は、保育園をどこにするか検討している方や、移管にあたり現在通っている園とどのように変わるのかイメージを持たせる。3月頭に行う入園説明会は、実際に決まった方に対し、登園の打刻はどのようにバーコードで読み取るか、毎日の保育の中でこのような連絡帳を使う、草履はこのような草履等といった具体的な話を行う。今回の説明会は、保育の活動内容や、1年間の流れ等となる。何月何日にこの行事を行うといった話はまだ発表できないが、系列の園の0～5歳児たちの生活の様子等を写真で見てイメージを持って頂くことが一番の主旨だと考えている。保育方針や、私たちが普段の生活の中で大切にしていること等の説明や、薬や熱が出たときの取扱い、災害が発生したときのこと、アプリの開発も進行中であり、この辺りを話したい。通常慣らし保育が認可保育園では多く行われているが、どろんこ会では希望者のみ行う。オリジナルのサービス内容があり、この点も説明を予定している。保護者懇談会、生活発表会、運動会といった子どもたちの成長を伝える場を年間通した流れを説明する。持ち物の質問もできることもあるが、これらは入園説明会で行う。一宮保育所から移管の方からは突っ込んだ質問があると想定し、今は一宮保育所に通っていないが今後入所を検討する方に関しては、突っ込んだ質問は3月の入園説明会に持ち越しになると想定しているが、どちらにも答えられるようにする。30分程度を予定している。

課長：内容は7月2日の住民説明会で使用したスライドになるのか。

理事長：それとは異なる。年間やデイリーといった園の保育内容を紹介するような形になる。

課長：保護者の方からは何かあるか。

保護者：年間行事等、一宮保育園とどろんこ保育園では何が大きく変わるのか。保育内容はもちろん、どこがどのように変わるのかを保護者は知りたがっている。比較を分かりやすく説明して欲しい。

理事長：大半の行事はどろんこ会が行っていることと被っている。チューリップ畑の見学、プラネタリウム等場所を限定して行っていた遠足の類は、どろんこ会では毎月1回、年間12回バス遠足があり、その中での行き先として全て引き継ぐ。この点をきちんと説明することで理解を得られればと考えている。

保護者：前回提示して頂いた持ち物リストもあった方が良い。今在所している子どもたちは入園説明会で詳しく話して頂けたら良いのではないか。

事業者：資料ではなく、大枠で以前このようなことをやっていたことを引き継ぐ形となる。名称や名前は変わるが基本的には引き継ぐ程度の説明で良いか。細かい点はまた別の機会に行う。

保護者：資料を渡した後、毎日どろどろになるのかと思い、気にしている親がいるが、園の雰囲気であり決してそうではないと納得してもらえと思う。前もって汚れる日にちを教えて頂けるのか、汚れてもいい服で登園させるのか。資料の写真を見ているので、泥の中に突っ込むといったイメージがある。

理事長：ほぼ毎日汚れる。頭から突っ込む子どももいる。ただ、冬場はあまり行わない。雨上がりの日や、気温が高い日は基本的に汚れる。

保護者：汚れても良い服は常備しておかないといけないのか。

事業者：前々回の協議会の際、持ち物で汚れても良い服を2着用意して欲しいといった話をした。今日は汚れる日、汚れない日で分けてはなく、活動の中園庭で遊べば子どもによっては汚れる子が出てくる。

保護者：普段の汚れと泥でつく汚れは違うのでは。

理事長：真ん中の写真が普段の様子だと考えて欲しい。

保護者：他の写真にも川でパンツ一丁でどろどろになっているものがあつた。その日にちが分かれば。

理事長：どろんこ会は設定保育ではなく、子どもたちが泥でおままごとをするときは、材料だけを置いておく。子ども達が水を被りたい、泥の中に入りたいたいと思った時は誰も止めない。この日は泥と言うより、何時汚れても良いようにして頂きたい。

保護者：今までの保育でも汚れることはあつたが、この資料を見ると対象が広く感じるのでは。この日はどういう服が良いか分かれば。

理事長：4月から開園となり、まだ涼しい時期。夏に向けて梅雨に雨が降り、この段階から本格的に始めたい。4月は平和に括らせるのではないかと考えている。新園では3ヵ月後くらいに0歳児、1歳児が頭までどろどろになつ

て遊んでいるのを見る。6月くらいから本格的になるのではないか。

課長：当日説明して欲しい点など、他になにかあるか。

特になし

事務局：その他事項も本日は特になし

課長：本日検討した(2)完全給食について、(3)延長保育料についてはどろんこ会とつめた内容を10月5日の説明会までには方向性を持たせる。

他に保護者から何かあるか。

保護者：年間行事は3月に提示されるのか。

理事長：3月では出ない。

保護者：入園してからになるのか。

理事長：紙で配るとすれば4月1日になる。アプリの運用が未定だが、運用が開始したら保護者側のアプリから見られるようになる。

保護者：今後決めることになると思うが、民営化して町との連携が少なくなり、町の行事と保育所の行事がなるべく被らないようにして欲しい。10月1日に運動会が行われるが、町では福祉ボランティアが行われ被ってしまう。福祉ボランティアに出席するため運動会に行けないといった状況がある。年間行事を考えると、町の行事も把握し、近隣の原保育所や小学校の運動会等と被らないような設定を町や他の保育所との連携を作ってほしい。

入園してからの話になるが、保護者会といった組織も設置されるのか。

理事長：保護者会という名前の組織は無いが、どろんこサポーターズといった組織を任意で各園行っている。保護者同士の繋がり、子どもの環境を整える等、自由に行っている。日曜日に園を開放してお祭り、バザー、出店、キャンプ等全て自由であり、園舎使用の書類を出せば何を行っても良い。共催でどろんこサポーターズを作って頂けたら、どろんこ祭等の出店は保護者や職員で出し、夜に映画上映会を園庭で行う等、一緒に行えたら嬉しい。新規開園だと組織を作るのに時間がかかり、初年度はうまくいかないことがある。一宮保育所に既にあるのであれば、今ほどのキッチリしたものではないかもしれないが、園と保護者が繋がる橋渡しになればと。

保護者：今の保護者会は役員が決められているが、役員の方も働いているので運動会の手伝いといった形だけになっている。どろんこ会になっても同じような組織があれば、役員になるとこういった仕事があることが入園までに知りたい。役員は毎年やりたくない方が多い。

理事長：役員に関しては設けない。力を借りたいときは、新規開園だと、裸足保育するにあたって園庭に石があることが多く、日曜日に石拾いのお願いをすることがある。お祭りの時にお手伝いをお願いする程度で、基本的に強制でなく役員を決めて頂くといったことはない。

保護者：入園してからも組織ができるのであれば、この点もはっきりしてほしい。

課長：保護者から話があったように、町の行事と被らないようにする点について

は、保育所との協議会を立ち上げ、情報交換を行い被らないようにする。今回社会福祉協議会に配慮がなかったので、こちらにも被らないように話をしたい。

理事長：福祉フェスティバルとはなにか。

保護者：バザーと似ている。自営などで出店すると保護者は運動会に行けなくなる。運動会に行くと子どもたちは福祉フェスティバルに参加できなくなり、人の出が悪くなるのでは。大変だと思うが町や近隣の学校と被らないようにしてほしい。

理事長：学校を借りることになることが予想され、役場と相談することになる。情報を頂きながら調整したい。

課長：学校側も4月までには年間スケジュールを決めるので、事前に情報提供できると思う。保育所側も同様か。

所長：その通り。

町職員：年間スケジュールに関して、今年度中に実現したいことがある。

4つの保育施設、支援館、町内の子育てサークルで、行事日程が被らないように、年度末頃に一度話し場を設けたい。

理事長：了承した。

課長：以上で本日の会議を終了する。検討事項が2点あるが、今後町とどろんこ会につめていく。

3. 閉 会